

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 11 月 13 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200577		
法人名	有限会社 メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム千同ひまわり		
所在地	広島市佐伯区千同2丁目6-29 (電話) 082-924-2567		
自己評価作成日	平成25年10月22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200577-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成25年11月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

1人ひとりの生活のリズムを大切にしながら、日常生活の中で「出来る事」を見つけ役割を持っていただき料理、掃除、洗濯等を職員と共に行っている。花や飾り付けは季節に応じた物を取り入れ、安心して笑顔で暮らせる家庭的な雰囲気となるように努めている。活動目標に「地域との交流を大切にします」を掲げグループホームがこの地域にある意義を大切にし、町内のお祭り・近隣の保育園との交流・町内清掃等地域行事に積極的に参加したり、地域の方をホームに招き入れカラオケ大会や大正琴の演奏会を行い、地域住民の一員としてご家族の皆様の協力を得ながら共に支え合う関係づくりを大切にしている。医療面に関しては、医療法人みやうちのグループである利点を活かし廿日市野村病院と連携を取りながら健康管理や相談などいつでも医療支援が受けられる体制を築いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

このホームでは、入居者が穏やかに過ごされており、職員は入居者とゆったりと過ごす時間を持つようにしている。1階のベランダではお茶を飲み、菜園では季節の野菜を育て食事に利用し、室内ではめだかを飼育している。ここでは、その方にできる仕事（食事の準備・後片付け、めだかに餌を与える、畑の水やりなど）を行っていただいている。また、本人の要望を大事にし、すしやてんぷらなどの外食、読みたい本を買いに行く、カラオケに行くなどの要望を実現している。また、地域との交流を大切にし、町内清掃や夏祭に職員と参加したり、近隣の保育園との交流を行っている。地域住民も非常に協力的で、ボランティアを紹介したり、火災発生時には避難誘導を行う協力体制が整っている。家族も紅葉狩りに同行したりと職員に協力している。母体の医療機関も入居者の医療支援に協力している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「地域との交流を大切にします」という活動目標を掲げ、毎朝朝礼にて唱和しており、地域の方から夏祭り・慰霊祭・秋祭り等行事の情報を頂き積極的に参加し実践につなげている。また、日々の活動における心得から一つ、毎月月間目標を設定し意識付けるようにしている。	母体法人などの理念の下に、「グループホーム千同ひまわり」のケア目標と活動目標を作成している。また、その下に心得などの注意事項を定め、その中から月間目標を取り上げ、職員全員で取組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、グループホームの倉庫を町内会の備品の保管場所として提供している。町内清掃に入居者と共に参加したり、散歩や花の水やりの時には地域の方とあいさつや話をし、地域の方から行事への参加の声掛けをして頂いたりし日常的に交流を図っている。	夏祭や町内清掃に職員と参加したり、近隣の保育園の「運動会ごっこ」や「芋ほり」に参加し、交流している。地域住民がボランティアとして「大正琴の演奏」や「フラワーアレンジメント」などで、ホームで活動されている。今後は地域ひとり暮らし高齢者の「のんびりサロン」にも開放したいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議にて、地域の方からの要望もあり地域で迷われている認知症の方を見かけたら、まず当グループホームへ来て頂き落ち着いて頂く場所として役割を担えるように取り組んでいる。また、近くの大学の学生の環境デザインの研究、「グループホームの家具の配置や使い勝手」等に協力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	日々の活動、参加した行事は写真を見て頂きながら報告しており、参加者からの意見は外出等の行事計画に取り入れたりと、職員で話し合い日々のケアに活かしている。また、会議終了後にはご家族同士話をする機会を設け、時には管理者を交えて意見を頂いている。	運営推進会議には、毎回多くの地域住民・家族が参加し、活発な意見交換や提案がなされている。地域住民のボランティア紹介やホームの相談ごとにも応じてもらえ、地域の行事に積極的に参加するようにアドバイスされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議で地域包括支援センターを通して伝え関係を築いている。また、議事録を区役所へ持参、報告し次回の会議への参加を呼び掛けている。	運営推進会議に地域包括支援センター職員が参加し、意見交換をし、必要なことがあれば、区担当者に伝えてもらっている。事業所として、介護保険についての問題点・疑問点を市担当者と相談している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全職員が研修や資料を通して身体拘束をする事の入居者へ与える悪影響を理解しており、何が拘束に該当するのかを念頭に日々のケアに取り組んでいる。法人の身体拘束防止委員会に出席しその内容は全職員が共有している。日中は玄関も開錠し、自由に出入りできる環境にある。	身体拘束をしないケアについて、事業所で研修会を行い職員に周知している。法人の「身体拘束委員会」に職員が出席し、「言葉による拘束」や気が付きにくい拘束事例、虐待について勉強し、職員に伝えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全職員が研修や資料を通して虐待について理解しており、常日頃からケアの内容に関して虐待に当たらないかどうか注意を払い、その防止に努めている。また、管理者より虐待の事例を朝礼・終礼時に提示し注意喚起している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	全職員が研修や資料を通して権利擁護に関して理解しており、必要と思われる入居者とその家族には制度の紹介と利用に関しその都度話し合いの機会を持ち、相談しながら導入の検討をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時納得して頂けるまで説明を行い疑問点の解消に努めている。また、必要であれば入居後も随時説明を行い、質問も受け付けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関には意見箱を設置し誰でも記入できるようにしている。また、運営推進会議にて意見・要望を受け付けており、日帰りの温泉旅行や秋祭りでの子ども神輿におけるお菓子の提供等といった形で運営に反映させている。	年1回家族会を開催し、その際にはアンケートも行い、家族の要望を聞いている。運営推進会議には、毎回多くの家族が参加し、会議終了後に家族の意見を聞く場を設けている。個々のケアをより知りたいとの家族からの要望で、ケアカンファレンスに家族が積極的に参加するようになった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1回と随時、スタッフ会議を行っており、職員の意見・提案を受け付け反映させている。時には介護の方法等の悩み相談の場となっている。</p>	<p>月1回のスタッフ会議や、週1回の法人部長来訪時に職員の意見を聞いており、必要であれば母体法人に相談し解決している。事業所には、環境整備、園芸、広報、防災、献立の係りがあり、その職員の提案を反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課にて職員個々の目標を掲げ、やりがいや向上心を持って働けるよう就業環境の整備に努めている。また、全職員が車通勤が可能となるように条件の整備を行った。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人本部・外部からの研修の案内を職員全員が見る事が出来るようにしており、希望者には参加できるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>2か月に1回、関連法人のグループホームの管理者と交流し情報の共有に努めている。また、法人外の居宅介護支援事業所の見学を受け入れたり、他グループホーム・施設への見学も行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>関連法人の相談員と協働し、今まで関わって来られた居宅のケアマネから情報を頂いたり、入居される前に面談をし、生活歴等の情報収集を行い、本人・ご家族が安心してもらえるよう話し合いをし信頼関係を深めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>関連法人の相談員と協働し、相談時や見学時に困っている事や不安な事をお聞きしており、入居契約時、入居後も随時ご家族との連携に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前に面談を行い状況をお聞きし、在宅から継続して訪問歯科を利用して頂いたり、他のサービス利用も含め専門医と相談しながら対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者の可能な家事や畑仕事を職員がサポートし一緒にいき、役割を持って生活して頂き、時には教えて頂いたりと共に生活する馴染みの関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日頃から何かあればご家族に報告・連絡・相談しており、家族会を開き共に過ごす時間を設けたり、ご家族の提案・協力を得て温泉へ日帰り旅行をしたり、介護者の一員として協力を得られるような働きかけをしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>以前生活されていた自宅やグループホームを訪問したり、ゴルフが趣味の方とはパークゴルフをしに出かけたり、親戚・知人に面会に来て頂いたり馴染みの場所・関係が途切れないように努めている。</p>	<p>今までの行きつけの美容院や喫茶店にお連れして、馴染みの関係の継続を支援している。また、知人に会いたいなどの要望があれば、すぐに家族に報告し対応してもらっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う入居者同士で外出を行ったり孤立しないように職員が気配りをし、食事の席も工夫して出来る人が他者の下膳をしたり、支え合い共に生活出来るように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居された後でも相談や情報の提供を心掛けています。他施設へ移られた方の面会に行き喜ばれたり、病院でご家族にお会いする機会があり経過を伺ったりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴や日頃の関わりの中から本人の希望・要望の把握に努めアセスメントを行い、ケアプランに取り入れながら一人一人に合ったケアをするよう努めている。	3ヶ月に1回、センター方式のアセスメントシートを用い、「本人の言ったこと」「家族の言ったこと」「担当者の気づき」を書き取り、アセスメントを行っている。アセスメントから、本人の要望を把握し、ケアプランの目標としている。今までにゴルフやカラオケに行くなどの要望を実現している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今まで関わって来られた居宅のケアマネから情報を頂いたり、入居前に面談を行いこれまでの生活歴を伺い、職員全員で情報を共有し今後のケアに活かせるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	重要な事は申し送りを行い24時間の様子を記録に残し、いつもと異なる言動はありのままを記載し職員全員で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>事前に日程をお伝えし可能であればサービス担当者会議にご家族に参加して頂き、ご本人とご家族の意見と想いを聞いたうえでそれらを反映させたケアプランを作成している。入居者の状態によりその都度ケアプランを変更したり毎日チェックすることで現状に即しているかどうかの判断につなげている。</p>	<p>利用者ごとに担当者を決め、アセスメントやモニタリングを行う。モニタリングは、「ケアプラン実施表」で、各目標を毎日チェックし、実施状況を把握している。ケアカンファレンスでは、アセスメント・モニタリングが報告され、職員の見直しが行われる。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の行動記録やカンファレンスは記録を残している。連絡ノートを活用し職員間での情報の共有が出来るようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族や地域の方の協力を得ながら支援を行い、柔軟なサービスが提供できるように努めている。終末期には協力医療機関・訪問看護と連携し、「人間らしく最期を」というご家族の要望に事業所として出来る事を明示し、納得して頂くうえで看取りに取り組んだりしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>家で暮らしていた時と同様に地域との交流が持てるように支援している。近所の方とのカラオケ大会や夏祭り、秋祭りの神輿の見学や保育園の運動会ごっこに招待して頂いたり関わりを持って頂ける様支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人やご家族の意向を大切に確認したうえで希望の医療機関への受診を支援している。協力医療機関への受診同行は職員が行っており、それ以外の医療機関についてはご家族の協力を得て受診できるように支援している。</p>	<p>本人や家族の要望で主治医を決め、受診している。入居者全員の健康状況は、職員が把握し、必要があれば医療機関と連絡を取り対応している。母体の医療機関を希望された方には、総合的な医療支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	職員に看護師がおり日常的に相談をしている。訪問看護師とは重要な情報・相談したい事は訪問看護記録ファイルを利用し情報の交換・共有に努めている。また、日常的に連絡が取れるようにしており、適時受診できるように連携体制を整えている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	関連法人の相談員との連携体制を整えており、入院時から情報交換をし早期に退院できるように努めており、入居者・ご家族が安心できるように協力を得ている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	利用約款に明示しており、入居契約時に重度化や終末期についての指針の説明をしている。本人、ご家族の意向を踏まえ主治医や看護師と連携をとりながら対応できるケアについて説明し、チームとして柔軟な支援に取り組んでいる。	利用約款に「重度化した場合に関する指針」「看取りに関する指針」を明記し、家族に説明している。重度化した際には、家族・本人・医師等の意見・要望をふまえ、十分に協議して事業所として可能な範囲での柔軟な対応を行っている。実際に看取りを行った事例がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時についてその都度話し合いを行い対応できるようにしており、緊急時対応の流れ、緊急連絡網を整備し全職員が分かるようにしている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	避難訓練を毎月行い全職員がその方法を身に付けられるように取り組んでいる。地域の方からはいつでも協力しますと言葉をいただき自動火災通報装置には地域の方の電話番号も登録している。また、運営推進会議にて災害時についての話し合いや確認を行っている。	避難訓練は、夜間を想定した訓練を含め、毎月、職員・入居者が参加し行っている。火災が発生した際には、近隣の方が避難誘導を手伝う協力体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	1人1人のプライバシーを大切に、羞恥心に配慮した声掛け、誘導に努めている。勉強会を行い、良くない言動を職員同士で気を付けられるようにしている。	人格の尊重とプライバシーについての研修を行い、職員に周知している。個人の体調や排泄に関する会話を皆の前で行わないように取組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の生活の中での会話から思いや希望を聞き、編み物がしたい、お寿司が食べたいといった希望を取り入れたり、心配だから病院で診てもらいたいといった希望から病院を受診したり、職員側の一方的なケアではなく、本人の思いや日々のリズム・ペースに合わせたケアに取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人1人の気持ちや希望をケアプランに取り入れ、それに沿ったケアを実践している。また、天気が良いから出かけたいといった会話から、皆でお弁当を作って花見に出かけたりしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご家族の協力を得てその人らしい服を持って来て頂きお洒落を楽しまれたり、長年利用されている美容室へ散髪に出かけたり、お気に入りの化粧品を一緒に買いに行き、継続して使ったりと身だしなみを整える援助を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好にあった献立を考えており、食べやすいように工夫している。また、寿司が食べたいという入居者の要望から近くの寿司屋に外食したり、誕生日には食べたい物等希望を伺いメニューに取り入れ、また、行事には季節に合った食事をお出ししている。	季節に応じた食事を提供するように心がけている。主菜以外は、利用者と相談し、時には、庭で収穫した野菜や近所からの頂き物を利用し献立を立てている。準備や片付けなどその人ができる作業を行ってもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>偏った食事にならないよう献立を立てており、主治医より指示があれば個々に合わせた食事量にしている。また、水分摂取量にも気を配りコーヒー・お茶・スポーツドリンク等好みの飲み物を選んで飲んで頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の歯磨き、口腔ケア、義歯の手入れは欠かさず、必要な場合は歯科受診や訪問歯科往診により指導を受けている。個々の出来る事を大切に、出来なくなったことはフォローしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>1人1人の排泄のパターンを探り出来るだけトイレで排泄して頂ける様支援し、排泄機能を維持できるように取り組んでいる。夜間オムツ使用の方から出来るだけ起こして欲しくない要望があり、関係機関に相談し抗菌作用の高い尿取りパットを導入し、柔軟に本人の意向を尊重している。</p>	<p>入居者お一人一人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。夜間のトイレ誘導は行っているが、夜間はゆっくり眠りたいとの本人の意見を尊重し、抗菌作用の高い尿取りパット使用するなど其々に応じて柔軟に対応している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>牛乳やヨーグルト等を食事に取り入れたり、体操や散歩で腸の運動に働きかけ、便秘傾向の強い方には主治医と相談し、下剤や整腸剤にて調節を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴したい日、時間帯は本人の希望を聞き支援している。1人ひとりの気持ちや習慣に合わせた支援をするように心がけている。</p>	<p>本人の要望により、入浴回数や入浴時間を調整している。病院受診前に入浴希望には、柔軟に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	1人1人の生活習慣を尊重し、体調によっては休んで頂くよう声掛けをし、日中の活動量を増やし、出来るだけ夜間休息できるように支援している。習慣で夜遅くに休まれ、他の方より遅く起きられる方にも本人の意向を尊重した対応をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	スタッフ会議で入居者の内服薬について職員同士で勉強する場を設けている。また、個々の職員も薬の説明書を読み副作用について理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居前に把握している情報をもとに、楽しく日々を過ごせるよう嗜好・趣味の把握に努めている。畑作り、カラオケ、ぬり絵などの軽作業や手仕事などを通して張り合いのある生活がおくれるよう援助している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節が感じられる行事を年間を通して取り入れており、日常的にドライブ、買い物、美術展見学、外食などを積極的に行っている。また、ご家族の協力を得て紅葉狩りを兼ね温泉へ日帰り旅行に出かけたり、地域の方から芋ほりにお誘いいただき収穫を楽しまれている。	季節毎に、季節を感じる外出行事（花見・紅葉狩り・初詣など）を計画し実施している。紅葉狩りを兼ねた日帰り旅行には、家族にも案内し一緒に出かけている。本人の要望を大事にし、すしやてんぷらなどの外食、本屋やカラオケなど要望に応じて外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭トラブルにならないように注意したうえで、少額の金銭を持たれている方もいらっしゃる。また、本人の嗜好品・生活用品等を立て替えたり預り金などで購入し支払いも自分でして頂いたりして支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族の意向や事情も考慮したうえで電話を利用して頂いている。また、携帯電話を持たれている方もおられ、自室でお話を楽しまれたり、手紙を書く時は職員が援助している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには四季折々の花や手作りの作品を飾り暖かな家庭的な雰囲気になるように気を配っている。リビングのイス・テーブルは入居者が使いやすいように低めの物を提供している。温度・湿度にも配慮し、心地よく過ごして頂ける様子を配っている。</p>	<p>環境整備係りが中心になって清掃の仕方を検討し、それに従って職員全員で清掃に取り組み清潔に保つようになっている。低いテーブルの配置や1F外の広いベランダ、菜園など入居者本位の環境が整えられている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>外にはウッドデッキがあり景色を楽しんだり風や日光を感じるスペースがある。畳やソファも用意しておりゆっくりと過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族の協力を得てご自宅で使い慣れたベッドやタンス、テレビ等を持ち込んで頂き居心地良い環境になるようにと心がけている。</p>	<p>今まで使われていた家具や寝具を持ってきて頂き、住みやすい環境を作るように努めている。中には、マリア像を持参し、毎日お祈りする方もいらっしゃる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>リビングのテーブルや椅子を低くし使いやすい様に工夫している。また、安全に配慮し手すりの形を持ちやすいように工夫しており、残存能力を活かせるように要所に設置している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「地域との交流を大切にします」という活動目標を掲げ、毎朝朝礼にて唱和しており、地域の方から夏祭り・慰霊祭・秋祭り等行事の情報を頂き積極的に参加し実践につなげている。また、日々の活動における心得から一つ、毎月月間目標を設定し意識付けるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、グループホームの倉庫を町内会の備品の保管場所として提供している。町内清掃に入居者と共に参加したり、散歩や花の水やりの時には地域の方とあいさつや話をし、地域の方から行事への参加の声掛けをして頂いたりし日常的に交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議にて、地域の方からの要望もあり地域で迷われている認知症の方を見かけたら、まず当グループホームへ来て頂き落ち着いて頂く場所として役割を担えるように取り組んでいる。また、近くの大学の学生の環境デザインの研究、「グループホームの家具の配置や使い勝手」等に協力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	日々の活動、参加した行事は写真を見て頂きながら報告しており、参加者からの意見は外出等の行事計画に取り入れたり、職員で話し合い日々のケアに活かしている。また、会議終了後にはご家族同士話をする機会を設け、時には管理者を交えて意見を頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議で地域包括支援センターを通して伝え関係を築いている。また、議事録を区役所へ持参、報告し次回の会議への参加を呼び掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全職員が研修や資料を通して身体拘束をする事の入居者へ与える悪影響を理解しており、何が拘束に該当するのかを念頭に日々のケアに取り組んでいる。法人の身体拘束防止委員会に出席しその内容は全職員が共有している。日中は玄関も開錠し、自由に出入りできる環境にある。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全職員が研修や資料を通して虐待について理解しており、常日頃からケアの内容に関して虐待に当たらないかどうか注意を払い、その防止に努めている。また、管理者より虐待の事例を朝礼・終礼時に提示し注意喚起している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>全職員が研修や資料を通して権利擁護に関して理解しており、必要と思われる入居者とその家族には制度の紹介と利用に関しその都度話し合いの機会を持ち、相談しながら導入の検討をしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居契約時納得して頂けるまで説明を行い疑問点の解消に努めている。また、必要であれば入居後も随時説明を行い、質問も受け付けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関には意見箱を設置し誰でも記入できるようにしている。また、運営推進会議にて意見・要望を受け付けており、日帰りの温泉旅行や秋祭りでの子ども神輿におけるお菓子の提供等といった形で運営に反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回と随時、スタッフ会議を行っており、職員の意見・提案を受け付け反映させている。時には介護の方法等の悩み相談の場となっている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課にて職員個々の目標を掲げ、やりがいや向上心を持って働けるよう就業環境の整備に努めている。また、全職員が車通勤が可能となるように条件の整備を行った。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人本部・外部からの研修の案内を職員全員が見る事が出来るようにしており、希望者には参加できるよう配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	2か月に1回、関連法人のグループホームの管理者と交流し情報の共有に努めている。また、法人外の居宅介護支援事業所の見学を受け入れたり、他グループホーム・施設への見学も行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	関連法人の相談員と協働し、今まで関わって来られた居宅のケアマネから情報を頂いたり、入居される前に面談をし、生活歴等の情報収集を行い、本人・ご家族が安心してもらえるよう話し合いをし信頼関係を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	関連法人の相談員と協働し、相談時や見学時に困っている事や不安な事をお聞きしており、入居契約時、入居後も随時ご家族との連携に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前に面談を行い状況をお聞きし、在宅から継続して訪問歯科を利用して頂いたり、他のサービス利用も含め専門医と相談しながら対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者の可能な家事や畑仕事を職員がサポートし一緒に行い、役割を持って生活して頂き、時には教えて頂いたりと共に生活する馴染みの関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日頃から何かあればご家族に報告・連絡・相談しており、家族会を開き共に過ごす時間を設けたり、ご家族の提案・協力を得て温泉へ日帰り旅行をしたり、介護者の一員として協力を得られるような働きかけをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	以前生活されていた自宅やグループホームを訪問したり、ゴルフが趣味の方とはパークゴルフをしに出かけたり、親戚・知人に面会に来て頂いたり馴染みの場所・関係が途切れないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う入居者同士で外出を行ったり孤立しないように職員が気配りをし、食事の席も工夫して出来る人が他者の下膳をしたり、支え合い共に生活出来るように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居された後でも相談や情報の提供を心掛けている。他施設へ移られた方の面会に行き喜ばれたり、病院でご家族にお会いする機会があり経過を伺ったりしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴や日頃の関わりの中から本人の希望・要望の把握に努めアセスメントを行い、ケアプランに取り入れながら一人一人に合ったケアをするよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今まで関わって来られた居宅のケアマネから情報を頂いたり、入居前に面談を行いこれまでの生活歴を伺い、職員全員で情報を共有し今後のケアに活かせるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	重要な事は申し送りを行い24時間の様子を記録に残し、いつもと異なる言動はありのままを記載し職員全員で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>事前に日程をお伝えし可能であればサービス担当者会議にご家族に参加して頂き、ご本人とご家族の意見と想いを聞いたうえでそれらを反映させたケアプランを作成している。入居者の状態によりその都度ケアプランを変更したり毎日チェックすることで現状に即しているかどうかの判断につなげている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の行動記録やカンファレンスは記録を残している。連絡ノートを活用し職員間での情報の共有が出来るようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族や地域の方の協力を得ながら支援を行い、柔軟なサービスが提供できるように努めている。終末期には協力医療機関・訪問看護と連携し、「人間らしく最期を」というご家族の要望に事業所として出来る事を明示し、納得して頂いたうえで看取りに取り組んだりしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>家で暮らしていた時と同様に地域との交流が持てるように支援している。近所の方とのカラオケ大会や夏祭り、秋祭りの神輿の見学や保育園の運動会ごっこに招待して頂いたり関わりを持って頂ける様支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人やご家族の意向を大切に確認したうえで希望の医療機関への受診を支援している。協力医療機関への受診同行は職員が行っており、それ以外の医療機関についてはご家族の協力を得て受診できるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職員に看護師がおり日常的に相談をしている。訪問看護師とは重要な情報・相談したい事は訪問看護記録ファイルを利用し情報の交換・共有に努めている。また、日常的に連絡が取れるようにしており、適時受診できるように連携体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	関連法人の相談員との連携体制を整えており、入院時から情報交換をし早期に退院できるように努めており、入居者・ご家族が安心できるように協力を得ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用約款に明示しており、入居契約時に重度化や終末期についての指針の説明をしている。本人、ご家族の意向を踏まえ主治医や看護師と連携をとりながら対応できるケアについて説明し、チームとして柔軟な支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時についてその都度話し合いを行い対応できるようにしており、緊急時対応の流れ、緊急連絡網を整備し全職員が分かるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を毎月行い全職員がその方法を身に付けられるように取り組んでいる。地域の方からはいつでも協力しますと言葉をいただき自動火災通報装置には地域の方の電話番号も登録している。また、運営推進会議にて災害時についての話し合いや確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	1人1人のプライバシーを大切にし、羞恥心に配慮した声掛け、誘導に努めている。勉強会を行い、良くない言動を職員同士で気を付けられるようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日々の生活の中での会話から思いや希望を聞き、編み物がしたい、お寿司が食べたいといった希望を取り入れたり、心配だから病院で診てもらいたいといった希望から病院を受診したり、職員側の一方的なケアではなく、本人の思いや日々のリズム・ペースに合わせたケアに取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人1人の気持ちや希望をケアプランに取り入れ、それに沿ったケアを実践している。また、天気が良いから出かけたいといった会話から、皆でお弁当を作って花見に出かけたりしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご家族の協力を得てその人らしい服を持って来て頂きお洒落を楽しまれたり、長年利用されている美容室へ散髪に出かけたり、お気に入りの化粧品を一緒に買いに行き、継続して使ったりと身だしなみを整える援助を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好にあった献立を考えており、食べやすいように工夫している。また、寿司が食べたいという入居者の要望から近くの寿司屋に外食したり、誕生日には食べたい物等希望を伺いメニューに取り入れ、また、行事には季節に合った食事をお出ししている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	偏った食事にならないよう献立を立てており、主治医より指示があれば個々に合わせた食事量にしている。また、水分摂取量にも気を配りコーヒー・お茶・スポーツドリンク等好みの飲み物を選んで飲んで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の歯磨き、口腔ケア、義歯の手入れは欠かさず、必要な場合は歯科受診や訪問歯科往診により指導を受けている。個々の出来る事を大切にし、出来なくなったことはフォローしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	1人1人の排泄のパターンを探り出来るだけトイレで排泄して頂ける様支援し、排泄機能を維持できるように取り組んでいる。夜間オムツ使用の方から出来るだけ起こして欲しくない要望があり、関係機関に相談し抗菌作用の高い尿取りパットを導入し、柔軟に本人の意向を尊重している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	牛乳やヨーグルト等を食事に取り入れたり、体操や散歩で腸の運動に働きかけ、便秘傾向の強い方には主治医と相談し、下剤や整腸剤にて調節を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴したい日、時間帯は本人の希望を聞き支援している。1人ひとりの気持ちや習慣に合わせた支援をするように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	1人1人の生活習慣を尊重し、体調によっては休んで頂くよう声掛けをし、日中の活動量を増やし、出来るだけ夜間休息できるように支援している。習慣で夜遅くに休まれ、他の方より遅く起きられる方にも本人の意向を尊重した対応をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	スタッフ会議で入居者の内服薬について職員同士で勉強する場を設けている。また、個々の職員も薬の説明書を読み副作用について理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居前に把握している情報をもとに、楽しく日々を過ごせるよう嗜好・趣味の把握に努めている。畑作り、カラオケ、ぬり絵などの軽作業や手仕事などを通して張り合いのある生活がおくれるよう援助している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節が感じられる行事を年間を通して取り入れており、日常的にドライブ、買い物、美術展見学、外食などを積極的に行っている。また、ご家族の協力を得て紅葉狩りを兼ね温泉へ日帰り旅行に出かけたり、地域の方から芋ほりにお誘いいただき収穫を楽しまれている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭トラブルにならないように注意したうえで、少額の金銭を持たれている方もいらっしゃる。また、本人の嗜好品・生活用品等を立て替えたり預り金などで購入し支払いも自分でして頂いたりして支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族の意向や事情も考慮したうえで電話を利用して頂いている。また、携帯電話を持たれている方もおられ、自室でお話を楽しまれたり、手紙を書く時は職員が援助している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには四季折々の花や手作りの作品を飾り暖かな家庭的な雰囲気になるように気を配っている。リビングのイス・テーブルは入居者が使いやすいように低めの物を提供している。温度・湿度にも配慮し、心地よく過ごして頂ける様子を配っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>外にはウッドデッキがあり景色を楽しんだり風や日光を感じるスペースがある。畳やソファも用意しておりゆっくりと過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族の協力を得てご自宅で使い慣れたベッドやタンス、テレビ等を持ち込んで頂き居心地良い環境になるように心がけている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>リビングのテーブルや椅子を低くし使いやすい様に工夫している。また、安全に配慮し手すりの形を持ちやすいように工夫しており、残存能力を活かせるように要所に設置している。</p>		

V アウトカム項目 1階			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

V アウトカム項目 2階			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム千同ひまわり

作成日 平成25年12月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	より一層地域に貢献できるように、グループホームならではの役割を担う。	グループホームが地域の『認知症』の相談所となる。	地域の代表者と協働し掲示板等を活用し周知できるように取り組む。	12か月
2	2	地域の一人暮らし高齢者の集い「のんびりサロン」との連携を進める。	「のんびりサロン」をグループホームで行う。	「のんびりサロン」代表者と連携し、大正琴の演奏会等のボランティアが来られた時に併せて開催できるように調整・実行する。	12か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。